

地元住民、そして、観光客の安全のために
小・中学校の通学路や地元の商店街だけではなく、阿蘇山上や内牧温泉街などの観光地も重点的にパトロールしています。「観光客の皆さんの安全を

定着し、子どもたちや農作業中の皆さんに笑顔で応えてくれるのが励みになりますね」。



県内初の「青パト」導入

馬がのんびりと草を食む阿蘇の広大な草原。多くの観光客でにぎわう中、青色回転灯を点灯させたパトロールカー（通称「青パト」）が出現。「ただ今、防犯パトロール中です。車上狙いや不審者にご注意ください」と、観光客にマイクで呼び掛けます。



全国有数の観光地である阿蘇市では、県内で初めて青パトを導入。この青パトでの活動を担つているのが、平成十七年三月にボランティアで結成された「阿蘇防犯パトロール隊」です。中川竹久さんを隊長に、隊員は総勢十人。「県内初の試みだったので、最初は住民や観光客の皆さんに戸惑いました」と中川さん。「まずは『声掛け』からと考え、パトロールをしながら、マイクで防犯について呼び掛けました。最近は、青パトも随分地域に定着し、子どもたちや農作業中の皆さんに笑顔で応えてくれるのが励みになりますね」。

第3回 ● 「青パト」は、安全安心の代名詞

みんなで一緒に、安全安心なまちづくり

連載

阿蘇防犯パトロール隊（阿蘇市）

全を守るのも、わたしたちの大変な役目です」。

観光客から「阿蘇は安心できますね」と声を掛けられることもしばしばあるそうです。「その地域に合ったパトロールの仕方があると思うんです。マニユアルのようなものはないので、警察や市、学校などと連携しながら、自分たちに何ができるかを常に模索しながら活動しています」。

継続は力なり！無理なく、気長に

子どもの登下校時や地元の祭りでのパトロールなど、隊員の活動は多岐にわたります。「街がきれいだと犯罪が起きにくくなります」と、駅前の清掃活動にも参加しています。

最近では、住民からの出動の依頼も増えるなど、地域の防犯意識が確実に高まっていると手応えを感じる一方で、隊員の増強が必要だと感じています。そうですね。「継続してこそ、本当の力になります。隊員一人一人が無理をせずに、活動を続けていくことが大切です」。先月、研修を終えた十七人が新たに入隊し、その活動にさらに期待が高まります。

「パトカーを見ると、みんな不思議と気が引き締まりますよね。青パトが犯罪の抑止に一役買ってくれることを期待しています」。

芸術文化祭ポスター



県と熊本県文化協会では、9月から12月まで県内最大の芸術文化の祭典「熊本県芸術文化祭」を開催しています。

「芸術を高め、文化を広める」ことを目的に、音楽、演劇、舞踊、絵画展など、芸術の秋を彩るさまざまなイベントが県内各地で繰り広げられます。ぜひ、お出掛けください。

詳しくは、各市町村窓口などに設置してある開催プログラム、または、芸術文化祭のホームページをご覧ください。

●熊本県芸術文化祭ホームページ

<http://www.kumageibunsai.jp>

■熊本県芸術文化祭オープニングステージ

「火の国のうた」をテーマに、熊本の美しい風景や歴史にちなんだ名曲の数々をステージで披露します。

◎日 時 / 10月8日(日) 14:00開演

◎会 場 / 熊本県立劇場コンサートホール(熊本市)

◎出演団体 / 熊本交響楽団、県内各地の合唱団など

◎演奏曲目 / 交響詩「熊本贊歌 楠若葉」

混声合唱とピアノのための組曲「球磨川」ほか

◎入場料 / 大人1,000円、高校生以下500円

※チケットは、熊本県立劇場、県内主要プレイガイド、ローソンチケット、チケットぴあで販売中です。



お問い合わせ先